

函館港 本港地区 幹線臨港道路(Ⅱ期工区)整備事業 【便益算定根拠】

○輸送コストの削減

幹線臨港道路の整備に伴う輸送コスト・輸送時間コスト削減額を算出する。発生交通量を5,372台/日と設定。本整備事業の実施により、1,145百万円/年の輸送コストの削減が可能となる。

【輸送コストの削減】

1,145 百万円/年

				with 整備あり	without 整備なし
幹線臨港道路	(Ⅱ期工区) 3.8km	交通量	(台/日)	5,372	769
		走行時間	(分)	9.2	7.8
		走行費用	(億円/年)	3.01	0.24
		走行時間費用	(億円/年)	10.92	0.69
	(Ⅰ期工区) 2.9km	交通量	(台/日)	4,442	2,996
		走行時間	(分)	6.4	5.9
		走行費用	(億円/年)	1.25	0.82
		走行時間費用	(億円/年)	4.70	2.84
主な周辺道路	国道5号 20.3km	交通量	(台/日)	20,288	21,378
		走行時間	(分)	43.1	43.7
		走行費用	(億円/年)	33.45	34.72
		走行時間費用	(億円/年)	128.56	134.70
	国道227号 33.3km	交通量	(台/日)	18,515	20,580
		走行時間	(分)	61.5	64.9
		走行費用	(億円/年)	30.56	33.11
		走行時間費用	(億円/年)	112.94	124.53
	道道100号 道道347号 大野新道 40.9km	交通量	(台/日)	12,601	12,710
		走行時間	(分)	101.9	102.2
		走行費用	(億円/年)	42.38	42.79
		走行時間費用	(億円/年)	180.37	182.54
国道228号 21.1km	交通量	(台/日)	12,059	12,030	
	走行時間	(分)	38.2	38.2	
	走行費用	(億円/年)	19.50	19.49	
	走行時間費用	(億円/年)	75.03	75.11	
その他道路 合計	291.9km	走行費用	(億円/年)	165.31	165.74
		走行時間費用	(億円/年)	635.31	637.41

(億万円)

	with 整備あり	without 整備なし	without－with
a. 走行経費削減便益	295.45	296.91	1.46
b. 走行時間短縮便益	1,147.83	1,157.83	9.99
輸送コスト削減便益(a+b)	1,443.28	1,454.73	11.45

○交通事故損失額の削減

交通事項による事故損失額の削減額を算出する。本整備事業の実施により、51百万円/年の事故損失額の削減が可能となる。

【交通事故損失額の削減】→①

51 百万円/年

【事故損失額】

項目	with時	without時	
a: 交通量(台/日)	6,112,830	6,180,574	
b: 輸送距離(km)	0.57	0.56	
c: 走行台キロ費用(円/km)	1,318	1,318	
d: 交差点数(箇所/台)	1	1	
e: 交差点事故損失費用(円/箇所)	498	498	
f: 走行による事故損失額(百万円/年)	4,572	4,588	
g: 交差点による事故損失額(百万円/年)	3,045	3,080	
走行事故損失額の削減便益(百万円/年)			17 ①-1
交差点事項損失額の削減便益(百万円/年)			35 ①-2